



今年8月から江府町に新たに着任した2名の地域おこし協力隊員。着任してあっという間に3カ月が過ぎ、町内外でお声かけただけのことも増えてきました。今月号も、江府町の地域おこし協力隊員の活動を報告します。

今月号のテーマ 「秋、深まってきました♪」

農業部門（活動内容：農事組合法人宮市での商品開発など）



にしじま としあき
西嶋 俊明

こちらに来て3ヶ月目に入りました。江府町の自然を満喫しながら仕事をしていますが、田んぼの中や外では沢山の生き物を見かけます。昆虫ですと、トンボ、チョウチョ、コオロギ、クツワムシ、カミキリムシ、動物では、猿、シラサギ、カエル、ヘビですかね。（ちなみに見た目が苦手なのはヤスデとイモリとヤモリです。）そういえば蟹もいました。そのうちサンショウウオも見れるのではとワクワクしています。そう考えると実に“水田”は生態系に優しいようで、とりわけ大山の水の恵みはありがたいと感じる今日この頃です。田んぼの一角で咲いているコスモスも大山の恵みをたくさん受けてきれいに咲いていましたよ。



▲田んぼの一角で咲くコスモス

秋も深まってきましたね。皆様、11月もよろしくお願いいたします！

ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）



あべ まさき
阿部 将樹

11月に入り、朝夕の冷え込みも厳しくなってきました。冬の足音ももうすぐそこまでやってきているようです。

10月5日（月）～8日（木）に、日野高校の中間テストが実施されました。今回のテストが、まなびや縁側がグランドオープンして初めての定期テスト。講師の指導・生徒の頑張りともに、いつも以上に熱が入り、各々テストに対して手応えを感じたようでした。結果は、ほとんどの科目で成績が伸びており、ひとまず胸を撫で下ろしました。

また、10月16日（金）より、高校3年生の就職採用試験が始まりました。まなびや縁側からも5名の生徒が就職試験を受験しました。これまでの頑張りが実を結び、内定をもらう生徒もいます。生徒の努力を身近で見守ってきた身からすると、喜びを分かち合う生徒たちの姿は胸を打つものがあり、目頭が熱くなりました……。



▲テスト勉強の様子

11月末には、2学期末のテストがあります。2020年最後の定期テストを良い成績で終われるよう、生徒とともに頑張っていきます。